

浜松市教育委員会会議録

- 1 開催日時 令和元年7月23日(火)
10時00分～12時35分
- 2 開催場所 イーステージ浜松オフィス棟6階
教育委員会室
- 3 出席状況
- | | |
|----------|---------|
| 出席者 | |
| 教 育 長 | 花 井 和 徳 |
| 教育長職務代理者 | 鈴 木 茂 之 |
| 委 員 | 渥 美 利 之 |
| 委 員 | 安 田 育 代 |
| 委 員 | 黒 柳 敏 江 |
| 委 員 | 田 中 佐和子 |
- (職員)
- | | |
|-----------------|---------|
| 学校教育部長 | 伊 熊 規 行 |
| 学校教育部次長(教育総務課長) | 吉 積 慶 太 |
| 学校教育部次長(教職員課長) | 山 下 浩 |
| 学校教育部参事(教育審議監) | 梅 林 秀 弘 |
| 指導課長 | 野 秋 愛 美 |
| 市立高等学校長 | 柳 本 佳奈子 |
| 文化財課長 | 太 田 好 治 |
| 市立高等学校 | 飯 田 博 之 |
| 学校教育部副参事 | 岡 本 雅 康 |
| 指導課指導主事 | 山 本 裕 司 |
| 指導課指導主事 | 村 田 昌 士 |
| 指導課指導主事 | 齋 藤 隆 治 |
| 指導課指導主事 | 新 村 和 弥 |
| 指導課指導主事 | 縣 倫 子 |
| 指導課指導主事 | 辻 村 映 里 |
| 指導課指導主事 | 富 永 雄 一 |
| 指導課指導主事 | 嶋 田 喜 守 |
| 指導課指導主事 | 神 村 由貴子 |
| 指導課指導主事 | 星 宮 ちさと |
| 指導課指導主事 | 武 田 伸 江 |
| 指導課指導主事 | 田 中 寛 人 |
| 指導課指導主事 | 沖 田 正 伍 |

(事務局職員)

教育総務課長補佐

影山和則

教育総務課総務グループ長

田代智成

教育総務課副主幹

笹ヶ瀬優

4 傍聴者 17名

5 議事内容 別紙のとおり

6 会議録作成者 教育総務課 笹ヶ瀬 優

7 記録の方法 審議事項について発言者の全部記録
録音の有無 無

8 会議記録

(教育長) 令和元年7月23日の浜松市教育委員会を開催する。
傍聴についてはどうなっているか。

(事務局) 17名の方の傍聴をいただいている。

(教育長) 許可するというので、よろしいか。

(異議なし)

(教育長) 前回会議録の報告及び承認は回覧をもってお願いする。

本日の会議録署名人は渥美委員と黒柳委員のお二人にお願いする。

会期は本日限りである。

それでは議事に入る。本日は、議事が2件、報告が1件ある。

議案2件については、いずれも令和2年度の教科書採択の関係であり、審議に時間を要するため、報告事項の後に審議する。

(報告)

ア 市内の新たな国登録文化財について

(文化財課)

(教育長) 第30号議案「令和2年度使用浜松市立高等学校教科用図書の採択について」市立高校から説明をお願いします。

(市立高校長) 第30号議案「令和2年度使用浜松市立高等学校教科用図書の採択について」説明する。

説明資料の1ページをお願いします。提案理由、採択内申については、記載のとおり

である。採択方法について、文部科学省検定済教科書の中から、普通教育に関する教科については10教科、専門教育に関する教科については家庭の1教科が採択の対象である。採択手順については、校長を委員長とし、教科主任と教科書選採責任者で構成する教科用図書選採委員会で採択候補教科書を確定した後、本日教育委員会に内申し、決定することとなっている。詳細については、担当から説明する。

(市立高校教務主任) はじめに配付資料の説明をする。国語から順番に令和2年度採択内申する教科書一覧及び過去3年間の採択状況の報告を載せている。各教科書の一覧には、主な採択理由も掲載しているので、こちらもご覧いただきたい。

まず、全体概要から説明する。高等学校の新しい次期学習指導要領が、昨年3月に告示され、3年後の令和4年度の高校1年生より学年進行で実施される。地歴公民科の「公共」や、「地理総合」「歴史総合」の必修化をはじめ、従来と内容は大きく変わることになる。一方、現行指導要領の下で使用される教科書については、すでに一昨年までに、各出版社、各教科で、内容の改訂版が多く出されましたが、今年度以降は学習指導要領改訂を3年後の直前に控え、各出版社とも教科書改訂はありません。

今回、採択内申にあげた令和2年度使用教科書は、3学年すべてを合わせて61冊で、内訳は、1年生が15冊、2年生が25冊、3年生が21冊となっている。また、全61冊のうち、すでに今年度使用中の教科書は、継続使用の教科書18冊を含めて60冊あるので、今回、新規で採択内申する教科書は英語の1冊のみになる。

また、継続使用の教科書18冊というのは、生徒が昨年度又は今年度に、すでに授業で使用している購入済の教科書を、来年度も継続して使用する教科書のこと、内申書の「継続使用」欄に○印を付している。

まず、国語から説明する。国語は全部で7冊、新規の採択内申のものではなく、うち、継続使用のものは2冊である。7冊すべての教科書が、昨年度までにすでに採択内申されたものである。1年生の「国語総合」は大修館の「精選 国語総合 新訂版」を採択内申する。採択の理由は、生徒が自主的・自発的に学習を進めやすい。また、基礎的で理解しやすい教材が選ばれているため、高等学校最初の1学年に適している等である。

2年生では、「現代文B」「古典B」を文系・理系とも全員履修するが、「現代文B」は1年生と同じ、大修館の「精選 現代文B 新訂版」、「古典B」は第一学習社の「高等学校 改訂版 古典B」を採択内申する。大修館の「精選 現代文B 新訂版」は、題材の内容が標準的なレベルから、抽象度が高い文章まで選ばれ、発展的な読書への導入が確保されていること、第一学習社の「高等学校 改訂版 古典B」は、幅広いジャンルや、年代の作品がバランス良く採用されていることや、解説や言語活動のページが、自らの学びを深める手助けとなっていることが採択の理由である。「古典A」は2年生の選択履修となっており、伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成できる構成であるため、選択科目という特性を生かして、東京書籍「古典A」を引き続き採択内申している。

3年生の「現代文B」「古典B」は、現在2年生で使用している教科書を継続使用する。また同じく3年生の「国語表現I」は、選択履修となっており、第一学習社の

「高等学校 改訂版 国語表現」を採択内申する。選択科目の特性を生かして、親しみやすい表現教材、日本語理解のための文章が豊富であり、手紙やディベート、小論文まで具体的な実践課題での解説が充実していることが主な理由である。

国語については以上である。

(教育長) それでは、審議に入る。国語について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、国語に関する質疑を終了し、採決に入る。国語については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは、採択することとする。
続いて、地理歴史公民の説明をお願いします。

(市立高校教務主任) 次に、地歴公民について説明する。地歴公民は全部で12冊、新規の採択内申のものではなく、うち、継続使用のものは5冊である。12冊すべての教科書が、昨年度までにすでに採択内申されたものになる。それでは、公民から説明する。

1年生の「現代社会」については、引き続き東京書籍の教科書を採択内申する。幅広い分野の単元から構成される「現代社会」という科目の特性を考えて、教材が系統的・発展的に組織され、他教材との関連が配慮されていることが主な理由である。各領域の内容分量・配分が適しており1年生が学びやすい構成になっている。

続いて、地理歴史について説明する。市立高校では、地理歴史は2・3年生で履修する。世界史必修の現行教育課程では、「世界史A」または「世界史B」のどちらかを、必ず全員が履修することになっており、文系の生徒は「日本史B」または「地理A」を、理系の生徒は「地理B」を履修することになる。

「世界史A」については、第一学習社の教科書を続けて採択内申する。「世界史A」は少ない時間数で、世界の歴史を俯瞰しなければならない難しい科目である。その中で、もっとも生徒の学びの実態に合った時代構成と、流れのなかでわかりやすく記述されていることが採択の主な理由である。一方、「日本史B」「世界史B」については、山川出版社の教科書を引き続き採択内申する。いずれも教材が系統的・発展的に組織され、時代の流れを大きくとらえやすい点が、生徒の学びに適した内容であるというのが主な理由である。「地理A」については、帝国書院の「高等学校 新地理A」を引き続き採択内申する。図表が豊富であることから、生徒自らが課題解決する際に、資料活用しやすいことが主な採択理由である。

「地理B」「地図帳」についても、ともに帝国書院の教科書を採択内申する。基礎・基本の理解や習得の徹底に配慮された構成で、理系の生徒でも学びやすくなっている

点が主な理由である。3年生では、いずれの科目も教科書は継続使用になる。

地理歴史公民については以上である。

(教育長) それでは、審議に入る。地理歴史公民について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、地理歴史公民に関する質疑を終了し、採決に入る。地理歴史公民については、内申書の教科書を採択することよろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは、採択することとする。

続いて、数学の説明をお願いします。

(市立高校教務主任) 次に、数学について説明する。数学は全部で7冊、新規の採択内申のものはなく、うち、継続使用のものは2冊である。7冊すべての教科書が、昨年度までにすでに採択内申されたものになる。1年生で使用する「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」の計3冊について、今年度も数研出版の教科書を採択内申する。例題やその解法の解説について、計算の経緯や背景が的確に示されており、生徒が問題を解くにあたり、見通しを掴みやすくなっている。また、例題が精選されており、生徒の自発的な気付きを促す良問が揃っている。また、各単元の終わりに、まとめの考察が1ページにまとめられており、振り返りの学習も進めやすいことなどが、採択をした理由である。2年生が使用する「数学Ⅱ」は継続使用、「数学B」「数学Ⅲ」の2冊は、1年生で使用した教科書との継続性から、数研出版の教科書を昨年引き続き採択内申する。3年生の「数学Ⅲ」は、今年度の2年生と継続させる理由で、やはり数研出版の教科書を採択内申する。

数学については以上である。

(教育長) それでは、審議に入る。数学について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、数学に関する質疑を終了し、採決に入る。数学については、内申書の教科書を採択することよろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは、採択することとする。

続いて、理科の説明をお願いします。

(市立高校教務主任) 次に、理科について説明する。理科は全部で14冊、新規の採択内申のものではなく、うち、継続使用のものは7冊である。14冊すべての教科書が、昨年度までにすでに採択内申されたものになる。1年生で、必履修科目として「物理基礎」「生物基礎」の2科目を履修し、2年生で「化学基礎」を履修させる。まず、1年生の「物理基礎」は数研出版の「改訂版 物理基礎」を、昨年について採択内申する。他社の教科書に比較して、公式等の表示が大変わかりやすいのが特徴で、単元の順番が関連項目ごとに順序よく扱われていることも良い点であり、1年生で、物理が苦手と感じている生徒にも適しているともいえる。「生物基礎」は、第一学習社の「改訂 生物基礎」を、引き続き採択内申する。図表についてのわかりやすさが際立っている。1年生にとっては、特に人体の構造や細胞分裂の過程など、言葉による記述だけでは全体を捉えづらい分野であり、これらに関して、情報量が適当で、一目でわかりやすい点が評価でき、的確でわかりやすい図表により、知識の概念を掴みやすく、授業を展開するうえで適している。生物科目は、1年生の「生物基礎」と2年生以降の「生物」という2科目で構成されているが、第一学習社の「生物基礎」は、1年生で学習すべき内容に絞って、丁寧に記述されていることから、生徒の発達段階に照らしても、学習しやすい内容となっている。次に2年生の「化学基礎」については、数研出版の「改訂版 化学基礎」を昨年に引き続き採択内申する。本文や問題等について、系統的に統一性がはかられていて、生徒が自ら学びやすい内容になっている。内容的にも適切に精選されていることから、文系の生徒でも、生徒自ら学びやすい内容となっていることが主な理由である。次に、2・3年生の理系生徒が学ぶ基礎の名を付さない理科科目について説明する。「物理」について、1年生で学んだ「物理基礎」との系統性を考慮して、2年生と3年生で継続して数研出版の「改訂版 物理」を使用し、生徒が順序よく学びやすくなるよう今年度も引き続き採択内申する。「生物」については、2年生と3年生で継続して、やはり同様の理由で第一学習社の「改訂 高等学校 生物」を使用する。「化学」についても、基礎・基本の理解や習得の徹底に対して配慮された数研出版の「改訂版 化学」を2年生・3年生で継続使用する。

2・3年生文系の生徒の「物理基礎」「生物基礎」は、1年生から継続使用の教科書を使用する。

説明は以上である。

(教育長) それでは、審議に入る。理科について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、理科に関する質疑を終了し、採決に入る。理科については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは、採択することとする。
続いて、保健体育の説明をお願いします。

(市立高校教務主任) 次に、保健体育について説明する。保健体育は全部で2冊、うち、継続使用のものが1冊、2冊とも、昨年度までにすでに採択内申されたものになる。1・2年生で継続して全員履修する「保健」は、大修館の教科書とする。見開きで1授業時間分相当の内容で、週1時間しか配当されていない「保健」の授業では、見開きで完結する構成は、生徒が学習を進めやすい点で優れており、適切な内容が精選され取り上げられていることも良い理由である。2年生は、1年生の時の教科書の継続使用となる。

説明は以上である。

(教育長) それでは、審議に入る。保健体育について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、保健体育に関する質疑を終了し、採決に入る。保健体育については、内申書の教科書を採択することによるでしょうか。

(異議なし)

(教育長) それでは、採択することとする。
続いて、芸術の説明をお願いします。

(市立高校教務主任) 次に、芸術について説明する。芸術は全部で9冊、新規の採択内申及び継続使用はなく、9冊すべての教科書が、昨年度までにすでに採択内申されたものである。

全員が選択履修する1年生の「音楽Ⅰ」「書道Ⅰ」「美術Ⅰ」について、3冊ともに昨年度に続いて採択内申する。「音楽Ⅰ」は、音楽の基礎的事項を網羅し、系統かつ発展的に構成されていて、本校生徒の実態に合っている教育芸術社の教科書を、引き続き採択内申する。「書道Ⅰ」は、図版が大きくかつ鮮明で、作品の解説がわかりやすく、生徒が主体的に学べる構成である光村図書社の教科書を引き続き採択内申する。「美術Ⅰ」は、美術資料が大変充実し、生徒の興味・関心を高めることや授業中の活用が期待できること、また、作品の技術的な解説も多く掲載されている日本文教出版の教科書を引き続き採択内申する。2・3年生の選択履修科目である「音楽Ⅱ」「美術Ⅱ」「美術Ⅲ」「書道Ⅱ」「書道Ⅲ」は系統性を重視し、教材の偏りが無いよう生徒に配慮するため1年生と同じ出版社のものを使用する。一方、「音楽Ⅲ」については、音楽之友社の教科書を、昨年に引き続き採択内申する。音楽大学等への進学者が多く履修するこの科目は、音楽を専門的に勉強する生徒に対して、音楽の分析や

創作課題などが豊富に収録された内容の教科書が適していることが採択内申の理由である。

説明は以上である。

(教育長) それでは、審議に入る。芸術について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、芸術に関する質疑を終了し、採決に入る。芸術については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは、採択することとする。

続いて、英語の説明をお願いします。

(市立高校教務主任) 次に、英語について説明する。英語は全部で6冊、うち新規の採択内申が1冊、継続使用のものは1冊である。新規を除いた5冊の教科書が、昨年度までにすでに採択内申されたものになる。1年生では「コミュニケーション英語Ⅰ」「英語表現Ⅰ」の科目を履修する。「コミュニケーション英語Ⅰ」については、昨年度と同じく、数研出版の教科書を採択内申する。教科書の図がカラフルで、高校英語が初めての1年生は興味を持って、読み取りしやすい文章である。取り上げているテーマも、生徒になじみがある題材を取り上げている。また、課題文についても、生徒が取り組みやすいものが多くあり、自主的に学びやすい点においても優れている。「英語表現Ⅰ」については、引き続き、いっずな書店の教科書を採択内申する。文法の例文が身近な内容で、1年生にとって、内容の理解や定着に優れている点が評価できる。2年生の「コミュニケーション英語Ⅱ」と「英語表現Ⅱ」は、体系立てた継続的な指導のため、同一の出版社のものをそれぞれ採択内申する。「コミュニケーション英語Ⅱ」は、1年生の時との継続的な指導のために、新たに数研出版の教科書を採択内申する。新出の語彙が本文中に繰り返し登場することで、定着につながり、付属のデジタル教材も充実していて、生徒が英文を聞く、読む、話す活動に授業展開がしやすいことも採択内申の理由である。

3年生の「コミュニケーション英語Ⅲ」は、引き続き、数研出版の教科書を採択内申する。生徒の基礎・基本の理解や習得に対して配慮がされた内容で、生徒の興味関心を高める構成こと、短い英文を回数も多く読ませることが効果的であることから、採択内申する。3年生の「英語表現Ⅱ」はいっずな書店のものを継続使用する。

(教育長) それでは、審議に入る。英語について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、英語に関する質疑を終了し、採決に入る。英語については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは、採択することとする。

続いて、家庭科の説明をお願いします。

(市立高校教務主任) 次に、家庭科について説明する。家庭科は全部で3冊、新規採択、継続使用のものではなく、3冊すべての教科書が、昨年度までにすでに採択内申されたものである。家庭科は1年生で「家庭基礎」を男女とも全員履修する。「家庭基礎」は昨年度に引き続き、第一学習社の「高等学校 新版 家庭基礎」を採択内申する。生徒自ら課題解決的な学習が意図されており、生徒の主体的な学習活動が期待される。2年生で選択して履修する「フードデザイン」については、実教出版の教科書を昨年に引き続き採択内申する。各栄養素について丁寧な説明がされ、1年生の既習事項をさらに発展させた内容の学習に適している。調理実習例も多くて内容が詳しく、授業で多く実習を行う点で優れている。3年生の同じく選択科目の「ファッション造形基礎」については、2年生との系統性を考慮し、昨年度と同じく実教の教科書を採択内申する。製作過程の図解が分かりやすく生徒の実習に適している。

説明は以上である。

(教育長) それでは、審議に入る。家庭科について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、家庭科に関する質疑を終了し、採決に入る。家庭科については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは、採択することとする。

続いて、情報の説明をお願いします。

(市立高校教務主任) 最後に、情報について説明する。情報は1冊のみで、昨年度までにすでに採択内申されたものである。1年生で使用する「社会と情報」は、実教出版の「最新社会と情報 新訂版」を採択内申する。情報は、総授業時数の関係上、常勤の教員1名と非常勤の教員1名で、授業を実施している。実務出版の教科書の構成は、講義の場面と実習の場面が明確化されており、授業展開を組み立てやすくなっている。また、実習用のソフトとして、社会人として必要にもかかわらず、他社の教科

書では意外に少ないエクセルやパワーポイントなどを扱っている。今の高校生は、スマートフォンの操作はよくできるが、パソコンで、これらのソフトの操作には、なじみのない生徒が多い現状である。他にも、個々のアプリケーションの説明が的確で、細かな点まで、生徒が、その都度、教員に確認しなくても学習を進められる点も評価できる。

説明は以上である。

(教育長) それでは、審議に入る。情報について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは情報に関する質疑を終了し、採決に入る。情報については、内申書の教科書を採択することよろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは、採択することとする。

第30号議案「令和2年度使用浜松市立高等学校教科用図書の採択について」は以上である。

続いて、次に、第31号議案「令和2年度使用浜松市立小・中学校教科用図書の採択について」指導課から説明をお願いします。

(指導課長) 第31号議案「令和2年度使用浜松市立小・中学校教科用図書の採択について」説明する。

説明資料1ページをお願いします。まず、中学校で使用する教科書について説明する。小・中学校で通常使用する教科書は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条とその施行令により、4年間同一のものを採択することになっている。本年度は、図1のとおり、中学校は、道徳以外の教科の採択年度となっており、中学校で令和2年度に使用する教科書については、昨年度新たに検定を通ったものはなかった。浜松地区教科用図書選定委員会では、県の専門調査研究結果や27年度の浜松地区調査研究報告書を活用し、4年間の実績を踏まえながら採択案について協議を行った。その結果、これまで4年間使用してきたものを継続使用するという案を教育委員会に建議するとまとまったことから。資料2ページの採択案で、令和2年度から中学校で使用する教科書を決定していただきたいと思う。

(教育長) 中学校の教科書について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、中学校の教科書に関する質疑を終了し、採決に入る。中学校の

教科書については、建議案の通り採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは、採択することとする。

続いて、小学校の教科書採択案について説明をお願いします。

(指導課長) 次に、小学校において使用する教科書の採択について説明する。

資料3 ページの2番をお願いします。小学校では、本年度、英語、道徳を含むすべての教科の採択替えの年度である。静岡県内は11の採択地区に分かれているが、そのうち浜松地区では、「静岡県教科用図書採択指導の基本方針」に沿って「浜松地区教科用図書選定委員会」及び「浜松地区教科用図書研究委員会」を立ち上げ、資料4 ページ3番のような流れで、調査研究を行った。また、その際には、資料5 ページ4番に示した『浜松の観点』を盛り込みながら研究報告書にまとめている。第2回浜松地区教科用図書選定委員会においては、研究委員会からの「調査報告」を受け、慎重に協議した上で、浜松市の子供の学びにふさわしいと思われる採択案が資料6 ページのように出されている。なお、この教科書採択については、教科書発行者など外部からの働き掛けにより採択が歪められたなどの疑念が抱かれることの無いように、静ひつな採択環境の確保が求められていることから、7月12日の選定委員会に至るまでの全ての作業において、委員会の委員名や、委員会開催日等、全て極秘で行い、研究に使用する教科書見本についても、発行者名をマスキングした状態で行った。

各教育委員には、7月18日の「教科用図書勉強会」において、浜松地区教科用図書研究委員会が作成した「調査研究報告書」を確認しながら、全ての発行者の教科書について、十分な時間をかけて閲覧しながら、理解を深めていただいた。そのことから、本日、委員の皆様のお手元には、特にお示ししたい記載のある教科書のみをご用意しているが、そちらの教科書のみでは分かりづらい部分は、ご質問いただければ指導主事が答える。また、県が示す採択指導の基本方針に則り、教科書展示会での御意見(8枚)や各小学校巡回見本における調査研究報告書も必要に応じて閲覧できるようになっている。

それでは、浜松地区教科用図書選定委員会委員長により建議されている「採択案」について、ピンクの表紙の「研究報告書」をもとに、各者の教科書の特徴と推薦理由を指導主事から国語より順に説明する。

(指導課指導主事) 国語では、発行者が4者ある。東京書籍より順に研究結果を報告する。東京書籍の教科書は、単元で扱う言語活動や学習のめあてを示した「導入のページ」、挿絵やリード文を記載した「教材の扉」を見開きにしており、学習意欲を高めることができる。また、学習課題が具体的に設定されており、見通しをもって学ぶことができる。また、人工知能や掲示板等、時代に即した、身近で魅力的な教材を取り入れ、児童の興味・関心を引く内容となっている。次に、学校図書について報告する。同じ題材で、視点を変えた複数の教材を配列し、文章を比べて読むことで、目的

や意図に応じて読む力が付くように配慮されている。また、学んだことを実生活の中で生かせるような言語活動が具体的に示されている。次に、教育出版について報告する。教材の終わりの「言葉を学ぼう」「言葉をふやそう」、巻末付録の「言葉の木」「言葉のまとめ」では、学習で使う言葉を多く紹介しており、語彙を豊かにすることができる。学習の流れを4ステップで示し、下段では、児童の思考を会話形式で示していて、学習の流れをイメージできるよう配慮されている。最後に、光村図書について報告する。単元の扉には、既習事項と学習指導要領に沿った身に付けたい力が明示され、そこで示された言語活動は、児童の実態等に応じて工夫できる自由度の高いものになっている。また、読むことの「たいせつ」や「見通しをもとう」の下段には、学習する際に着目するとよい表現や考え方が示され、児童が言葉による見方・考え方を働かせ、課題解決に向かうことができるようなものとなっている。巻末資料も充実しており、「言葉の宝箱」、思考ツール等、汎用的に活用できる知識・技能に関する内容をいつでも確認・活用できる。さらに、「情報の扱い方に関する事項」を意識的に学ぶ教材が系統的に配置され、読むことの教材と関連付けながら学習できる構成になっている。4者ともに優れた教科書ではあるが、選定委員会では、光村図書が、採択案となっている。その理由は、新学習指導要領に基づいた資質・能力とそれに応じて働かせる見方・考え方が示され、児童が主体的に言語活動に取り組むことができる点、既習の内容や前後の教材と関連付け、身に付けた力を汎用的に活用できる力を高めるように配列されている点、各学年の発達段階に応じて、日常場面で活用できる語彙や言葉の使い方などを系統的に学べるように工夫されている点が挙げられる。

説明は以上である。

(教育長) 国語について、ご意見、ご質問はあるか。

(安田委員) 光村図書の「言葉の宝箱」のようなページは他者にもあるか。

(指導課指導主事) 他者にも言葉を大切に取り扱い扱ったページは同様にあるが、学習に関する用語や学習指導要領で身に付けるべき指導事項に関連した用語を厚く取り扱っている点、人物を表す言葉、考え方や気持ちを表す言葉などを系統的扱い語彙を高めるようにしている点が光村図書の優れた点と評している。

(鈴木委員) 同じ学年の中で同じ題材を取り扱っているものはあるか。

(指導課指導主事) 各者で同じ題材を取り扱っているものはある。「手紙」や「スイミー」という題材は、各者とも取り扱っているが、各者で取扱う学年が異なっている。一方、「モチモチの木」という題材は各者とも3年生で取扱っている。

(教育長) それでは、国語に関する質疑を終了し、採決に入る。国語については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、書写の説明をお願いします。

(指導課主導主事) 書写では、発行者が5者ある。東京書籍より順に研究結果を報告する。東京書籍の教科書は、「生活に広げよう」が配列され、他教科等の活動に生かす方法が示されている。また、毛筆では左手で書く場合の用具の置き方が示され、硬筆では真ん中の手本の左右に練習枠が配置される等、利き手に対する配慮がされている。次に、学校図書について報告する。毛筆の手本が原寸大で、字の大きさや配列を児童がイメージできるように配慮されている。また、硬筆の手本が手書き風に示されており、児童がなじみやすいものとなっている。次に、教育出版について報告する。学習の進め方の「考えよう」では、学習目標に迫るための視点が具体的に示されており、児童が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。また、毛筆の手本は穂先の通り道が明確になるよう、穂先が赤色で示された文字で提示されている。次に、光村図書について報告する。初めに複数の手本を比較して相違点を明らかにし、ねらいを意識しながら見直しをもって学ぶことができるようになっている。また、学習場面や日常生活で生かせる具体例が示され、6年の「書写ブック」では、それらがまとめられ、身に付けた力を確認できるようになっている。最後に、日本文教出版について報告する。めあてとまとめがはっきりと示され、身に付けたい力が明確になっている。また、水書シートは大きく丈夫で、繰り返し練習できるよう配慮されている。5者ともに、優れた教科書ではあるが、選定委員会では、光村図書が採択案となっている。その理由としては、児童が単元のねらいを意識し、主体的に学習活動に取り組むことができる点、学習場面や日常生活で生かせる知識や技能を高めるように配列されている点及び各学年の発達段階に沿って、毛筆と硬筆を関連的に学べるように工夫されている点が挙げられる。

説明は以上である。

(教育長) 書写について、ご意見、ご質問はあるか。

(安田委員) 二点確認したい。一点目、水書シートの取扱いは各者どのようになっているか。二点目、国語とのつながりを考慮したか。

(指導課指導主事) 一点目の水書シートについては、学校図書以外の4者で取扱っている。二点目の国語とのつながりについては、書写の教科書選定については、国語の教科書の選定状況を考慮せず、書写の教科書として最も良いものを選定した。

(教育長) それでは、書写に関する質疑を終了し、採決に入る。書写については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、社会の説明をお願いします。

(指導課主導主事) 社会では、発行者が3者ある。東京書籍より順に研究結果を報告する。東京書籍の教科書は、重要語句を「ことば」とし、「まとめる」段階でキーワードとして使用している。「まなび方コーナー」で資料の読み取り方を示し、基礎的・基本的な知識と技能の確実な習得が図られるよう工夫している。また、5年生の教科書は上下2冊に分かれている。学習したことをまとめるための多様な方法を例示し、表現力の育成を図っている。全ての単元で、単元構成を4つのキーワードで分かりやすく示し、主体的に問題解決的な学習を進められるよう配慮している。特に、「いかす」の段階では、社会に見られる課題の解決に向けた自身の関わり方を選択・判断する内容になっており、学んだことを生活や社会に生かすことができる。さらに、「自然災害から人々を守る」の単元では、県内の事例を多数扱い、具体例として浜松市が取り上げられていることから、本市の児童が身近な問題として取り組むことができる。次に、教育出版について報告する。必要な技能を「学びのてびき」に示したり、「まとめ」の段階で重要語句を掲載したりして、確実な知識と技能の習得を図っている。また、「次につなげよう」によって、各時間の学習内容を次の時間の間につなげ、一貫性を保ちながら単元全体の課題解決ができるよう配慮している。さらに「ゴミはどこへ」の単元では、浜松市の事例が取り上げられており、他にも、防災や森林に関する内容で、静岡県に関わる資料が掲載されている。最後に、日本文教出版について報告する。「キーワード」で大切な用語について説明し、「学び方・調べ方コーナー」で見学の仕方などについて解説することで、基礎的・基本的な技能の習得を図っている。また、単元の最初に「学習の計画」を掲載し、見通しをもって学習を進めることができるよう構成している。情報を生かした産業の単元では、意外性のある素材を教材化し、興味・関心を高める工夫をしている。3者とも優れた教科書ではあるが、選定委員会では、東京書籍が採択案となっている。その理由としては、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得、表現力の育成が図られるよう、学習過程が工夫されていること、問題解決的な学習過程が分かりやすく明示してあるだけでなく、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする活動が充実していることが優れていた点が挙げられている。

説明は以上である。

(教育長) 社会について、ご意見、ご質問はあるか。

(田中委員) 情報リテラシーについて東京書籍はどのように扱っているか。

(指導課指導主事) 情報の送信者及び受信者の両方の考え方を示している。

(黒柳委員) 防災について、各者どのように取扱っているか。

(指導課主導主事) 東京書籍だけが浜松の事例を取扱っている。事例も新しく指導しやすいものとなっている。

(鈴木委員) 分冊に対する考え方は。

(指導課主導主事) 東京書籍だけが5・6年で分冊になっている。社会は資料集も授業で使用することから分冊の方が良いと考えている。

(渥美委員) 文量が多いものを分冊にすると重さが軽くなって良いが、その他に分冊について議論した点はあるか。

(指導課指導主事) 他の学習内容とのつながりやページをめくる際の扱いやすさという点で、分冊が適しているか否かを議論している。

(指導課長) 前の単元に戻ることが必要な場合は分冊でない方が適している。科目の特性を踏まえつつ、分冊が良いものはそちらを選択している。

(教育長) それでは、社会に関する質疑を終了し、採決に入る。社会については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、地図の説明をお願いします。

(指導課指導主事) 地図では、発行者が2者ある。東京書籍より順に研究結果を報告する。東京書籍の教科書は、広い視野で日本と世界を見渡すことができる地図を掲載し、日本と世界の国々との位置関係を捉えやすくしている。鳥瞰図、真上からの絵地図、そして、一般的な地図というように、生活科で作成してきた絵地図からのつながりを考え、抵抗なく3年生が地図に親しめる内容になっている。次に帝国書院について報告する。巻頭の世界地図を行政区ごとに色分けし、国の位置がつかみやすくなっている。各国の挨拶が示されており、外国語活動でも地図が活用できる。また、最初に都道府県の位置や形、交通による結び付きを端的に捉えることができる「広く見わたす地図」を掲載している。「くわしく見る地図」は、情報が精選して掲載されているため、必要な情報を的確に読み取ることができる。茶畑が凡例として示されていたり、色と地図記号を組み合わせることで表記されていたりするため、土地利用を的確に捉えることができる。さらに、「地図帳の使い方」を4ページにわたって説明し、地図活用の技能が身に付くよう工夫している。また、地図を使った自主学習ができ、児童が主体的

に知識・技能を高められる。2者ともに優れた地図ではあるが、選定委員会では、帝国書院が採択案となっている。その理由としては、地図帳を効果的に活用し、主体的に学んだり、社会的事象について調べたりすることができる点、地図の見方や使い方を理解するための配慮がなされている点が挙げられている。

説明は以上である。

(教育長) 地図について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、地図に関する質疑を終了し、採決に入る。地図については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、算数の説明をお願いします。

(指導課指導主事) 算数では、発行者が6者ある。東京書籍より順に研究結果を報告する。東京書籍の教科書は、1年生では、教科書に別冊があり、サイズも大きく書き込みなどの作業がしやすくなっており、入学したての子供たちに配慮されている。3年生の「分数」では、「量を表す分数」と「割合を表す分数」の意味の違いを明確に示す工夫が見られる。次に、大日本図書について報告する。全学年において、プログラミングにふれるページが位置付けられている。6年生のデータの活用では、学んだグラフの中から目的に応じてグラフを選択し活用する活動が設けられ、データ活用能力の伸長が図られている。次に、学校図書について報告する。教科書のサイズが大きく、ゆったりとした印象がある。また、全学年において、プログラミングにふれるページが位置付けられている。次に、教育出版について報告する。学習の基本的な進め方として「はてな、なるほど、だったら」というキーワードに沿って、子供たちが問いをもち、問いを解決し、「だったら」で学習内容を振り返り、一般化を図ったり、新たな問いにつなげたりしている。また、「割合」では4年生で素地を養い、5年生で既習を踏まえて導入する、など丁寧な構成となっている。さらに、6年生のデータの活用では、代表値のひとつひとつを学習した後、それぞれの代表値から資料を分析した際に考察に違いが出ることを扱っている。次に、新興出版社啓林館について報告する。巻末の「学びのサポート」では、個々の実態に応じて選ぶことができるような練習問題が用意されている。また、「割合」の学習については、4年生と5年生に単元があり、段階的な構成となっている。最後に、日本文教出版について報告する。6年生の「データの活用」では、統計的な問題解決の方法を紹介するページが充実していて丁寧に手順を示している。また、既習の学習内容が巻末に示されており、数直線やテープ図のかき方が分かりやすく示されている。6者ともに、すぐれた教科書であるが、選定

委員会では、教育出版が採択案となっている。その理由としては、学習の手順や進め方について、「はてな、なるほど、だったら」と学習を振り返って次につなげる工夫が見られ、主体的で対話的な学習を生み出す授業展開に結び付くものとなっている点、今後、算数では数学的な見方・考え方を働かせることがたいへん重要になってくることを踏まえ、子供たちの数学的な見方・考え方を働かせて学習を進めていくことに適しているという点が挙げられる。

説明は以上である。

(教育長) 算数について、ご意見、ご質問はあるか。

(安田委員) 教育出版の教科書が、データ活用やプログラミングで良い点はどこか。

(指導課指導主事) 教育出版の教科書は、扱っているデータが身近でわかりやすい点、プログラミングが指導要領において5年生で取扱う例が示されている中で、その单元の中で扱っている点が良いところである。

(教育長) それでは、算数に関する質疑を終了し、採決に入る。算数については、内申書の教科書を採択することよろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、理科の説明をお願いします。

(指導課指導主事) 理科では、発行者が6者ある。東京書籍より順に研究結果を報告する。東京書籍の教科書は、全体的に丁寧な解説が加えられていて、学習の中で指導すべき視点が資料に書かれているのが特長である。子供が教科書を読み進めることで学習内容が理解できるように構成されている。また、5・6年では特に考察の段階で、子供たちの会話を吹き出しで掲載し、対話的な学びの事例を表している。次に、大日本図書について報告する。大日本図書の教科書は問題解決の過程が全学年一貫している。課題作りでは、子供の思考に沿った話し合いから問題をつかむことができるよう工夫されている。全てに予想の項目があり、子供たちが主体的に観察・実験の計画を立案し、問題解決学習ができるよう工夫されているのが特長である。これにより、全国学力学習状況調査における浜松の課題の克服につながることを期待できる。また、全体的に対話的な活動が重視されており、考察の段階において、教科書に登場する子供の言葉で事例が紹介されている。プログラミング教育について、センサーを使ったプログラミングの活動が紹介されている。児童に分かりやすいプログラミングの活動体験を通して、協働的にプログラミング的思考を育成しようとしている。さらに、浜松市内や静岡県内の資料が数多く扱われており、4年では、浜松市出身の天野先生の紹介がされている。次に、学校図書について報告する。導入の見開きページで、单元

の見通しが持てるようになっている。また、単元の始めに、学校図書の押さえる各単元でつけた資質・能力を3点で示し、学習過程において意識させるようにしているのが特長である。学習の流れを矢印で示し、子供たちに分かりやすく示す工夫をしている。次に、教育出版について報告する。教育出版の教科書は、登場する子供キャラクターによる例示で子供の興味を引き、子供目線で学習が進んでいくよう工夫されている。吹き出しの流れを読んでいくことで、予想をしたり、実験計画を立てたりすることが容易になるよう工夫されている。また、子供が問題解決の流れを意識してノートをまとめていくことができるよう、「ノートのとり方」が例示されている。次に、信州教育出版について報告する。信州教育出版の教科書は、他者とは違った単元配列となっており、限定された地域の気候に適したものとなっている。地域教材に力を入れており、特に山間・高原部の教材が充実している。最後に、新興出版啓林館について報告する。新興出版啓林館の教科書は、単元の始めに、子供の興味を引く美しい写真を入れている。「思い出してみよう」「考えてみよう」と投げ掛けて、導入で単元全体の課題作りにつながるよう工夫がされている。また、単元の終わりは、生活とのつながりを意識したものとなっている。6者ともすぐれた教科書ではあるが、選定委員会では、大日本図書を採択案とした。その理由としては、子供主体の問題解決学習ができるよう配慮されている点、観察・実験に適した単元配列がされており、理科室使用の学年間の重複に配慮されたものとなっている点、問題解決の過程を示す用語が学年の発達段階に応じた言葉でどの学年でも一貫した表現がなされており、問題解決の過程が明確なものとなっている点が挙げられる。

説明は以上である。

(教育長) 理科について、ご意見、ご質問はあるか。

(鈴木委員) プログラミング教育の扱いは、各者どのようになっているか。

(指導課指導主事) 各者ともに6年生で取扱っているが、大日本図書は、「基礎」「発展」と学びの状況で使い分けができる点が良い点である。

(教育長) それでは、理科に関する質疑を終了し、採決に入る。理科については、内申書の教科書を採択することよろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、生活の説明をお願いします。

(指導課指導主事) 生活では、発行者が8者ある。東京書籍より順に研究結果を報告する。東京書籍の教科書は、A4判の大きさを生かして、イラストやダイナミックな活動の写真が豊富に掲載されており、児童の意欲や知的好奇心を高めることが期待で

きる。また、スタートカリキュラムには、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明示され、幼小の接続を意識した学びや幼児期の学びを視野に入れた指導・支援が、適切に実施できるよう配慮されている。さらに、児童と保護者が一緒に教科書を開き、学んでいくことができるよう工夫されている。また、配列においては、浜松市のどの地域においても取り組むことが可能な活動が取り上げられており、各学校は実態に応じて柔軟に単元を組み替えることができる。次に、大日本図書について報告する。季節の変化について児童が五感を使って考え、気付きの質を高めていけるよう白黒写真を活用したり、複数のページを比較できるようにしたりしている。次に、学校図書について報告する。単元内に「ものしりのうと」が配列されていることで、児童が活動に生かしやすい、さらなる関心や発展的思考を促すよう工夫されている。次に、教育出版について報告する。板書のイラストや「学びのポケット」などにあるように、本書においては思考ツールが効果的に紹介され、児童が多様な方法で思考を深めていけるよう工夫されている。「理科へのまど」「社会科へのまど」など、中学年以降の学習との関連性が明示されたページが設けられている特徴がある。次に、信州教育出版について報告する。地域の豊かな自然、季節の変化や伝統行事、生活に密着した飼育・栽培活動を重視することで児童の気付きの質が高まるよう工夫されている。次に、光村図書について報告する。各単元の振り返りでは、自己評価できるシールが用意され、児童が自分の学びの足跡を可視化できるよう工夫されている。また、そのシールは、貼りかえることができるため、児童は年間を通した学びの達成感・充実感や自己の成長を実感できる。次に、新興出版啓林館について報告する。巻末の「みらいにむかって」のページでは、児童が生活科で身に付けた力や、自分を支えている存在について自覚するとともに、意欲と自信をもって進級することができるように工夫されている。最後に、日本文教出版について報告する。多くの板書例により、児童が学習の見通しを持ったり、思考の深まりを生み出したりすることが期待できる。また、単元の中に幼児期の経験を振り返る児童の吹き出しがあることで、幼児期における遊びを通した総合的な学びから、各教科等における、より自覚的な学びに円滑に移行できるように工夫されている。8者ともに優れた教科書ではあるが、選定委員会では、東京書籍が採択案となっている。その理由としては、子供たちがやってみたくなる多様な魅力ある活動や体験が掲載されている点、低学年らしい思考や認識を確かに育成できる、多様な表現方法や学習活動のヒントが充実している点、浜松市内全体、どの地域であっても取り組むことが可能な活動が取り上げられている点が挙げられる。

説明は以上である。

(教育長) 生活について、ご意見、ご質問はあるか。

(安田委員) 教科書のサイズがA4判であることに対する考え方は。

(指導課指導主事) A4判であることで、資料がダイナミックとなり、紙面づくりに余裕があるつくりとなる点が良いと考えている。また、ランドセルもA4判が入る作りとなっていることが主流であることから、持ち運びにも問題ないと考えている。

(教育長) それでは、生活に関する質疑を終了し、採決に入る。生活については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、音楽の説明をお願いします。

(指導課指導主事) 音楽では、発行者が2者である。教育出版から順に研究結果を報告する。教育出版の教科書は、3年生の教科書で写真資料に3ページを使い、ダイナミックで美しい写真が用いられているため、子供が楽曲に対するイメージを豊かに膨らませやすく、主体的・対話的で深い学びの支えとなっている。5年生の巻頭ページでは、伝統芸能で活躍しマスメディアでもおなじみの野村萬斎さんからのメッセージを掲載することで、我が国や郷土の伝統芸能に関する学習の充実につながっていくことが期待できる。次に、教育芸術社について報告する。全体を通して、題材ごとに、題材名、題材のねらい、学習目標、活動内容を明確に示し、主体的な学びを支える手立てが、分かりやすく掲載されている。また、様々な音楽活動の中で、感想「感じたこと」とその根拠「気付いたこと」を関連させながら、書き込む活動が設定されていることで、この活動の積み重ねにより、自分らしい音楽表現を行う素地となる言語活動の充実や、友達とのかかわり合いによる対話的で深い学びへの質の高まりが期待できる。鑑賞教材だけでなく、歌唱教材にも同じ「感じたこと」や「気付いたこと」を記入する枠が新たに設けられている4年生の「日本の音楽でつながろう」では、箏による楽曲「さくら」の鑑賞から体験演奏につなげ、色々な資料を用いながら日本の楽器を存分に親しむことができるようになっている。2者ともに、優れた教科書ではあるが、選定委員会では、教育芸術社が採択案となっている。その理由としては、1年生から6年生まで系統性を意識した題材構成となっている点、鑑賞教材や歌唱教材において、感想とその根拠を関連付けて、書き込む活動が設定されている点が挙げられている。

説明は以上である。

(教育長) 音楽について、ご意見、ご質問はあるか。

(田中委員) 記号の取扱いについて、各者どのように扱っているか。

(指導課指導主事) 記号については、2者ともに工夫して掲載している。教育出版は、その学年で学んだ記号について透明シートを用いて示している。教育芸術社は、その学年までに学んできたものを含めて記号を確認できるページがあるため、振り返って学ぶことができる。

(教育長) それでは、音楽に関する質疑を終了し、採決に入る。音楽については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、図画工作の説明をお願いします。

(指導課指導主事) 図画工作では、発行者が2者ある。開降堂より順に研究結果を報告する。開降堂の教科書は、5・6年下の巻末の資料ページで、中学校生活や自分の未来を思い描くガイダンスページを設定している。「あわせて学ぼう」というコーナーを設定することで、他教科等との横断的な学びができるよう配慮されている。また、各題材に二次元コードがあり、用具の使い方や作品例を動画で見ることができるようになっていいる。さらに、美術館や地域の人材を活用した活動を紹介しており、美術館で「子どもの市展」を行う本市においては、今後、このようなつながりをより深く関連付けることができるようになっていいる。次に、日本文教出版について報告する。各題材において育成すべき資質・能力が、子供に分かりやすい具体的な言葉で示されている。「学びに向かう力、人間性等」の涵養へとつなげるために、学習のめあてに加え、振り返りを子供の言葉を使って掲載しており、相互を関連させてよりよく理解できるよう工夫されている。各題材において、キャラクターの吹き出しにより、図画工作科で重視する「造形的な見方・考え方」につながるヒントが具体的に示されている。身近にある葉や石を鑑賞した後に絵の具等を使って作品にするなど、「表現と鑑賞の一体化」を意識した内容となっている。また、題材数が多く豊富なため、地域差が大きい本市においても、学校の実情に応じた題材を選択することができ、1・2年上の最初にあるガイダンスページでは、子供たちの幼児期の体験が図画工作科の学習につながっていくことを示している。さらに、図画工作科の学習を通して、自分と社会とのつながりが意識できるような題材が設定されている。2者ともに、優れた教科書ではあるが、選定委員会では、日本文教出版が採択案となっている。その理由としては、育成すべき資質・能力が具体的で子供や教師に分かりやすく示されている点、図画工作科の学習で重視されるべき「深い学び」の鍵となる「造形的な見方・考え方」が分かりやすく示されている点、地域差の大きい本市にとって、豊富な題材数により選択肢への配慮がされている点が挙げられる。

説明は以上である。

(教育長) 図画工作について、ご意見、ご質問はあるか。

(鈴木委員) 2者ともにたいへん綺麗な作りとなっている。工作に関する割合が多いように感じるが、絵を描くことについて2者の取扱いに違いはあるか。

(指導課指導主事) それぞれ大きな違いはないが、日本文教出版の方が、総合的に見

童が取扱いやすいと評している。

(教育長) それでは、図画工作に関する質疑を終了し、採決に入る。図画工作については、内申書の教科書を採択することよろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、家庭の説明をお願いします。

(指導課指導主事) 家庭では、発行者が2者ある。東京書籍より順に研究結果を報告する。東京書籍の教科書は、生活の営みに係る見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、すべての題材が、ステップ①～③で構成され、生活の課題を解決する力を養う内容となっている。途中に「生活を変えるチャンス！」が設定され、家庭・地域で取り組めるようになっている。また、随所に日本の伝統文化の大切さに気付くような資料も工夫されている。さらに、教科書はA判で、写真や図などの資料が豊富で実物大の資料やデジタルコンテンツが充実している。次に、開隆堂について報告する。生活の営みに係る見方・考え方を働かせる視点が、ガイダンスや生活への生かし方等、繰り返し紹介され、身に付きやすい内容となっている。また、全ての題材で、問いかけから始まり、問題解決型学習を通して、家庭実践につながるように構成されており、持続可能な社会の構築に対応して、身近な消費生活と環境の題材が意図的に取り上げられていることも特徴である。2年間の学習の配列も工夫されており、中学校等との関連が図られ、学びの連続性も意識できる。さらに、生活の中でプログラムが活用されている製品を紹介しながら、プログラミング教育への意識づけが図られている。2者とも優れた教科書であるが、選定委員会では、開隆堂の教科書が採択案となっている。その理由としては、生活の営みに係る見方・考え方を常に意識し生活の中で生かすことができる点、問題解決型の学習が充実しているため主体的・対話的で深い学びの推進につながる点、浜松市が推進しているSDGsにつながる身近な消費生活や環境に関連した題材・資料が豊富なので、自立した消費者を育成することに結び付くという点である。

説明は以上である。

(教育長) 家庭について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、家庭に関する質疑を終了し、採決に入る。家庭については、内申書の教科書を採択することよろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、保健の説明をお願いします。

(指導課指導主事) 保健では、発行者が5者ある。東京書籍より順に研究結果を報告する。東京書籍の教科書は、全ての単元が、気づく・見つける、調べる・解決する、深める・伝える、まとめる・生かすの4つのステップで構成され、課題解決学習を進めることで、課題を自分のこととして深く考え、生活に生かしていける工夫がなされている。「深める・伝える」活動が、すべての単元に設けられ、新学習指導要領に示された表現力(体育科では、他者に伝える力とする)の育成につながると考えられる。また、それは、教科書自体に子供の考えを十分に書き込むことのできるワークシートのようなつくりになっていることから同様のことが言える。ストレスを一時的に忘れるための「深呼吸の仕方」をイラスト等で順序よく、分かりやすく示されており、新学習指導要領で新たに示された「保健の技能」の定着が図られやすい工夫がされている。さらに、地震や熱中症など、身近な安全に関する課題を取り上げ、予防や手当等を学び、子供が自分の身を自分で守るための学習を進めることができる。次に、大日本図書について報告する。唯一のA B判となっており、単元の最初には、イラストが大きく提示されており、体育に比べ保健に興味関心が向かない子供の関心を引く工夫がある。また、単元の最後にはまとめのページがあり、学習したことを生活にどのように生かしていくかを考える項目が設定されている。次に、文教社について報告する。多くのページに二次元コードが記載されており、学習内容に関する資料を検索しやすくなっていることから、授業後に、子供自らが学習を広げたり、深めたりすることもできる。また、「けがの防止」では様々な自然災害を取り上げ、「自助・共助・公助の連携の必要性」を取り扱っている。自然災害に備えて、自分たちにできることは何かを考えられるようなつくりとなっている。次に、光文書院について報告する。巻頭ページには、「なぜ保健を学ぶのか」について、オリンピック・パラリンピアンのお話を掲載し、健康の大切さを学ぶ意義に触れている。また、ネットによる犯罪被害や、ネットやゲームの使い過ぎによる健康被害について考えることができるページがある。最後に、学研について報告する。「もっと知りたい・調べたい」コーナーでは、子供がさらに知りたい情報が豊富に掲載されている。また、「心の健康」では、不安や悩みへの対処だけでなく、いじわるや嫌なことへの対処や解決のヒントが掲載されている。5者ともに優れた教科書であるが、選定委員会では、東京書籍が採択案となっている。その理由としては、保健における技能の定着が図られやすい工夫や、身近な課題について考える機会をより多く設定していることで、健康や安全に関する課題に適切に対処する力、実践する力を育むことが期待できる点、課題解決的な学習がしやすい構成になっていることで、主体的・対話的で深い学びが実現され、それにより教科の目標を達成することが期待できる点である。

説明は以上である。

(教育長) 保健について、ご意見、ご質問はあるか。

(意見なし)

(教育長) それでは、保健に関する質疑を終了し、採決に入る。保健については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、英語の説明をお願いします。

(指導課指導主事) 英語では、発行者が7者ある。東京書籍から順に研究結果を報告する。東京書籍の教科書は、冷蔵庫にある物や自分の食生活を考えることから始まり、家庭科の栄養素や社会科の食の輸出入など、他教科と関連させながら、オリジナルカレーを考える言語活動につなげている。また、絵を手掛かりに、日本語と英語の語順の違いに気付くことができるようになっていたり、主語・動詞が色分けされていたりして、語順や文構造への気付きを促す工夫が見られる。各ユニットの最後のページには、その単元に関連した内容で、生活や文化における外国と日本の共通点、相違点に気付くことができるようになっている。さらに、Picture Dictionary において5・6年で学んだ表現や語彙がまとめられ、関連ページも示されていることから、参考にすることで自己表現にも活用でき、これを持って中学校に上がることによって、中学校でも小学校の学びを確認することができる。次に、開隆堂について報告する。スモールステップで、文字の学習が展開されている。また、「聞く」「読む」「書く」の3つの活動が複合的に組み込まれている。また、「CAN-DO マップ」を活用することによって、子供たち自身が、できるようになったことを実感できる。次に、学校図書について報告する。各学年の最初に、オリエンテーションのページがあり、児童が1年間の学びの見通しと1時間の学習のイメージを持つことができる。また、同じ題材を2学年にわたって取り上げ、単純な言い方から、新しい語彙を加えて表現の幅が広げられるようになっている。次に、三省堂について報告する。学期ごとに、「HOP-STEP-JUMP」の大きなまとまりで構成され、「HOP」で学びの見通しを持ち、「STEP」で身に付けた表現を、「JUMP」の言語活動で生かして、実際の場面にも活用できるようになっている。また、「STEP」の各レッスンにはパノラマの絵が描かれ、児童が場面のイメージを持ったり、学習への意欲を高めたりするのに効果的である。次に、教育出版について報告する。単元の終末に Sounds & Letters が設定され、音と絵を手掛かりに単語を認識し、音と文字の結び付きを捉えられるようになっている。また、付録のカードやシールが充実しており、巻末のシールを使って、友達のほしいピザを作る活動を行うことができる。次に、光村図書について報告する。どの単元にもゴールや流れが分かりやすく明記されているため、見通しをもって学習に取り組むことができる。また、学年の最後に Let's play sugoroku. があり、1年間で、できるようになったことを、楽しみながら確かめられる。次に、新興出版啓林館について報告する。各単元のチャンツでは、強調する箇所にマークが付いていて、英語特有のリズムで言えるようになってい

る。また、4か国語の文を比べることで、語順の違いに気付くことができる。さらに、主語、動詞、目的語が色分けされ、並べたカードで文を作る活動が設定されている。7者ともに優れた教科書ではあるが、選定委員会では、東京書籍が採択案となっている。その理由としては、身近な場面設定の中で、他教科での学びを生かし、児童が目的をもって言語活動を行うことを通して、実際のコミュニケーションで活用できるような構成になっているという点、課題となっていた語順や文構造への気付きが促される工夫があり、「書くこと」についても音声から文字へスムーズに移行できるようになっているという点、どの単元においても、外国語の背景にある文化の理解を深められるという点である。

説明は以上である。

(教育長) 英語について、ご意見、ご質問はあるか。

(田中委員) アルファベットを書くことについて指導要領ではどのように明記されているか。

(指導課指導主事) 大文字と小文字を活字体で正しく書き分けること、形や位置を意識して正確に書くことが求められる。

(鈴木委員) 教科書展示会において各者の教科書に対し、どのような意見があったか。

(指導課指導主事) 意見は少ないが、取り扱う語彙が各者とも多いという意見があった。

(鈴木委員) 英語の教科担任でない教師が教えることを踏まえて、どのような配慮をしたか。

(指導課指導主事) 英語の教科担任ではなく、学級担任が英語を教えることから、指示や授業の進め方で扱い易い教科書となるよう配慮した。

(安田委員) 巻末の取扱いについて、各者どのようになっているか。

(指導課指導主事) 各者いずれも巻末は充実している。その中で、東京書籍の Picture Dictionary は、別冊になっていることから、表現活動をする際、横に置いて書き写すことができるなど、子供にとって扱いやすいものとなっている。

(安田委員) Picture Dictionary は、中学校でも取扱うことを想定しているか。

(指導課指導主事) 小学校で学んだ語句や表現がまとめられていることから、中学校においても振り返り学習に使用することを考えている。

(教育長) それでは、英語に関する質疑を終了し、採決に入る。英語については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

続いて、道徳の説明をお願いします。

(指導課指導主事) 道徳では、発行者が8者ある。東京書籍から順に研究結果を報告する。東京書籍の教科書は、「いじめ」問題をユニット化し、1年生から段階的に、いじめについて考えられるようになっていくことが示されている。また、目次の次のページでは内容項目を4つの視点別に分類し、1年間の学習内容が一目で分かるようになっていく。次に、学校図書について報告する。読み物教材が掲載されている教科書と、発問が書かれていたり話し合いの内容を書き込んだりするノートに分かれている。また、どの学年にも「学級づくり」の教材が載っており、どんな学級にしたいのかを話し合えるようになっていく。次に、教育出版について報告する。スキルトレーニングがどの学年にも組み込まれており、児童の発達段階に応じた指導を行うことができるようになっていく。また、発問の種類が豊富で、学級の実態に応じて教師が選択して授業を構成できるようになっている。ねらいとする道徳的価値に深く関わる中心発問は、「特に考えてほしいこと」として目立たせてあり、展開部分で活用できる。さらに、浜松市の目指す子供の姿である「夢と希望を持ち続ける子供」につながる内容項目である「希望と勇気」や、「自分らしさ」を大切にする内容項目である「個性の伸長」、高学年の内容項目である「よりよく生きる」の教材が豊富である。次に、光村図書について報告する。全学年にわたって「共生」「いじめ問題」を意識した教材が多く、また、内容項目の関連を意識できる配列になっているため、1時間1時間の学びが、児童の考えの深まりをより促せるようになっていく。次に、日本文教出版について報告する。「教科書」と「ノート」が分かれており、1年間の学びの足跡を1冊にまとめて残すことができる。また、いじめ問題については、複数の物語教材と「心のベンチ」をユニット化し、1年生から段階的に考えられるように工夫されている。次に、光文書院について報告する。全学年付録を含めて40の教材と最も多く、学校や子供の実態に応じて年間計画を工夫することができる。全学年を通して、道徳科の学習の進め方や道徳ノートの書き方の例が示され、オリエンテーションを充実させることができる。次に、学研について報告する。どの教材も2つの発問に絞られ、多面的・多角的に考えられる発問、自分のこととして考えを深められる発問となっている。また、全学年に二次元コードがついており、写真や動画を教師が授業で活用することができる。次に、廣済堂あかつきについて報告する。3年生以上では38時間分の教材があり、学校や子供の実態に応じて年間計画を工夫することができる。またインターネットを使って、ホームページから関連する情報を見ることができ、授業や家庭で活用することができる。8者ともに、優れた教科書ではあるが、選定委員会では教育出版が採択

案となっている。その理由としては、主体的に学習することができるような児童の興味関心をひく教材がバランスよく配置され、また、いじめについて考える学習が充実するよう、教材内容や指導方法、学年の系統性も工夫されている点、主体的・対話的で深い学びにつながる発問や問題解決的に考えることのできる発問、価値理解の深化をねらった発問など、多岐にわたる発問が掲載されており、学級の実態に応じて教師が選択して授業を構成できる点、「浜松市第3次教育総合計画」で目指している「夢と希望を持ち続ける子供」「自分らしさを大切にする子供」の姿につながる教材が充実しており、キャリア教育の推進にも大きく寄与するという点である。

説明は以上である。

(教育長) 道徳について、ご意見、ご質問はあるか。

(黒柳委員) ノートがある者となない者があるが、ないところはどのようにしているのか。

(指導課指導主事) 各学校の実態や発達段階に応じて、学校独自のノートやワークシートを活用している。

(教育長) それでは、道徳に関する質疑を終了し、採決に入る。道徳については、内申書の教科書を採択することによろしいか。

(異議なし)

(教育長) それでは採択することとする。

(教育長) 以上で、本日の教育委員会を終了する。

教育長

9 会議録署名人

渥美委員

黒柳委員